

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スポーツとまなびのひろばSAIYO 池田校			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 9日 ~			2025年 4月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43人	(回答者数)	28人
○従業者評価実施期間	2025年 3月 9日 ~			2025年 4月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	9人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 15日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者とのコミュニケーション	連絡帳や面談を通じて、しっかりコミュニケーションをとるのももちろん、送迎時などの会話でも日々の情報共有を行っている	参観日、夏祭り、毎月の誕生日会など、保護者参加の機会を設け、スタッフと保護者のコミュニケーション機会を増やすとともに、保護者間での交流の機会も充実を計っている
2	スタッフ間での支援内容の共有、役割分担	毎日丁寧に支援内容や、役割分担に関して、ミーティングを行い、必要に応じて子どもたちのコンディション、留意点に関してもスタッフ全員が共有した上で療育にのぞめている	日々の療育の内容の決定や振り返りを通して、日々改善していく環境を継続していく。
3	風通しの良い組織風土	職員の意見等を風通し良く汲み上げる風土があり、形式化された面談・アンケートだけではなく、日常から意見が言いやすい雰囲気を作れている。 重要な事案があれば全員で共有し、その場にいなかったスタッフにもしっかりと共有されている	今後も風通しの良い組織風土は大切にしていきたい、子どもの支援に関わる話し合いなどでは新しく入った職員でも意見が言いやすい会議の運営を心掛ける。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育スペースの狭さ	物理的なスペース	机や椅子をデッドスペースに移動させるなどして、運動スペースを確保し、子ども達が過ごす中で安全を第一に工夫していく
2	プライベートスペースの確保	物理的なスペース	パーテーションやホワイトボードでの間仕切り、部屋外で会話するなど工夫している
3	地域との連携		夏祭りを機会として、地域の方々との連携を大切にしていきたい。その他にも機会があれば、検討していきたい。